

「#ESAT-J実施状況調査2025」まとめ

—— 問題点を改善できないことが明らかに——

2025 年 12 月 3 日

入試改革を考える会

都立高校入試 英語スピーキングテストに反対する保護者の会

都立高校入試へのスピーキングテスト導入の中止を求める会

英語スピーキングテストの都立高校入試への活用の再考を求める元都立高校教員有志の会

中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) の都立高等学校の

入学者選抜への活用を中止するための東京都議会議員連盟

11 月 23 日(日)に実施された、東京都教育委員会の「中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J YEAR3)」について、中学 3 年生をはじめとする試験の当事者を対象に行ったアンケート調査の結果を報告します。この調査は ESAT-J 開始以来毎年行い、今年で 4 回目の実施になります。

昨年と同テストは、機器の不具合や現場対応の誤りにより 255 人が再試験対象になり、また、試験監督が確保できずに試験当日まで募集する事態も発生し、今年の実施状況が注目されていました。

都教委は 23 日夜、「会場準備の確認等に時間を要したため、試験終了時刻の遅延が一部の会場で発生した」とのみ発表しました。一方、アンケート結果からは、会場準備が遅れたことにより中学生が昼食もとれないまま夕方まで拘束されたことをはじめ、いくつもの会場で引き続きずさんな試験運営がされ、中学生が多大な被害を受けていることが明らかになりました。

第 1 回目から続く解答音声が周囲の受験生に聞こえカンニング可能となってしまうことも含め、問題点を改善できず同じ失敗を繰り返す ESAT-J には構造的欠陥があることは明らかであり、公平公正さが求められる都立高校入試への活用は、到底不可能です。

都教委はこれまで、中学生や関係者が不適切な状況をどれだけ証言しようとも「適切に行われた」と強弁し、まともな調査や検証を行ってきませんでした。今回こそ、事態を重く受け止め、客観的事実とその原因を詳細に公表・謝罪し、試験結果の入試活用は中止することを強く求めるものです。

【調査の概要】

- ・アンケート期間：11 月 23 日(日) 16 時 ～ 11 月 30 日(日) 24 時
- ・アンケート対象：中学校 3 年生や保護者、中学校教員、試験監督など ESAT-J YEAR3 に実際に関係した方
- ・調査方法：google フォームによるアンケートを X やチラシにより拡散し回答を募集

【回答の状況】

- ・回答総数は 129 件で、うち 7 割が中学 3 年生 (90 人、69.8%)、2 割が保護者 (28 人、21.7%) でした。他に試験運営関係者 (試験監督など) 4 件、都内中学校教員 3 件、都立高校教員、塾講師、中学 3 年生の家族、その他各 1 件の回答を頂きました。
- ・都立高校名など会場名の記載のあったのは 105 件、53 会場でした (会場総数 229 会場)。

【回答の概要】

1、運営側の責任による試験の遅延や再試験が大量に発生し、昨年から改善されていない

「試験監督の指示で困ったことがあった」という回答は 41 件でした。その回答からは、会場準備が開場時刻に間に合わなかったり、試験の指示が適切にできないことなどによる遅延や再試験が発生し、昨年から改善されていないことが明らかになりました。

（１）会場準備が間に合わず試験終了が５時過ぎに。昼食抜きという虐待に等しい状況も

【会場 A】

受験生は本来、正午から会場に入室し昼食（持参した軽食）をとることができます。ところが会場 A では正午になっても入室できず、説明もないまま 1 時間以上も外で待たされ、軽食も食べられず、試験終了は 5 時を過ぎたとの証言がありました。遅れた原因は、単に会場準備が間に合わなかったためと推測されます。

寒い中 1 時間以上も待たされ昼食も抜いた状態では、生徒は実力を発揮できなかった可能性があります。前半組はただ待機させられ後半組は長時間自習できたので不公平だとの声や、体調を崩したとの声も寄せられています。

ESAT-J を同じ会場で受験した中 3 生は様々な都立高校を受験するため、会場ごとに条件が異なっては入試の公平性が確保できません。さらに寒い中外で待機させ食事も摂らせないと虐待に等しい状況です。

準備が遅れたことに対し都教委は、都議会文教委員会で「引き続き万全の準備でとりくむ」「手順に基づき適切に実施」と繰り返しました。試験の公平性も生徒の人権も損なわれているという自覚すらない、無責任極まりない態度です。

- 12 時から教室に入れるはずが中に入れず 1 時間以上外で待たされました。軽食も教室内で摂るつもりだったのに、それもとれず（その時間も作って貰えず）受付後トイレだけ行く時間があり、そのまま試験開始となった様です。全員寒い中、外で待ち、待機理由も説明されずひたすら待ったとの事です。

ようやく始まった時でも、開始前に何故かまた 1 時間弱位待たされたそうです。保護者に届いたメールも報告だけで謝罪なし。子もインフル明けで行ったのですが、段取りがスムーズでなかったせいで、より体調を崩す感じでした。（保護者）

- 集合時間になっても開場されず、寒い中 30 分も外で待たされ説明もなかったようだ。受験生がこの時期の体調管理にどれだけ気を使っているのか理解が足りなすぎる。時間通りに開始できない運営は大人の行動として中学生に説明がつかない。遅れにより帰宅時間も遅れ。受験生の大事な時間を奪うなど言いたい。（保護者）

- 本来の試験開始の時間（1 時）を過ぎても、学校内に入ることが出来ず、それで開始が大幅に遅れた。前半組は長い時間、試験まで待たされ、自習すらできなかった。解散は本来の 3 時 40 分ではなく、5 時半程度だった。後半組はずっと自習していたので、とても不公平だと思った。（中 3 生）

（２）試験監督が運営や指示を適切にできず、会場全体の遅延や再試験が発生

【会場Ｂ】

試験監督の指示があいまいで機材トラブルを起こす生徒が多くいて、再試験となった生徒が出ました。その上、再試験とならなかった生徒も含め、帰宅が 17 時ごろになったことがわかります。

解散が遅れる旨の保護者への連絡が適切にされなかった点も、昨年から改善されていません。

- 試験監督の指示が曖昧だったので、機材トラブルを起こす生徒が多かった。テストが終わってからなのですが、帰宅の指示が出たあと戻られ、なにかトラブルがあったのかなと思っていました。ただ 1 時間以上係員の方から何も報告がなく、17 時頃に帰宅することになりました。（中 3 生）
- 機材トラブルで再試験した人たちが終わるのを待って帰宅だったが、再試験の人たちだけ残して他の人は帰しても良かったのではないかと。しかも、解散が遅れる旨のメールは子どもが帰宅してからだった。遅い。（保護者）

【会場Ｃ】

指示が出る前に複数の受験生の動画が再生され、試験監督が右往左往し本部の指示待ちとなり、終了時刻の遅延が生じました。試験監督の発言に「不安と責任感のなさを覚えた」との回答や、飲食可能な時間（正午から 12:30 まで）以降、水分補給もできなかったとの証言もありました。

- 動画を視聴して各自で準備を進めるフェーズにおいて、指示が出る前にもかかわらず複数名の受験者で動画が再生されてしまう事態が起きました。誤って操作したのか機材側の不具合なのかはわかりませんが、試験監督が「人によって画面が違うんですね」と発言されたことには不安と彼自身の責任感のなさを覚えました。また、時間が迫っているにもかかわらず、試験監督が状況をうまく把握できず場内を行き来するばかりで、最終的に別の監督に相談したのは約 15 分後でした。その後、本部への確認が必要とのことで、受験者全員が自習もできないまま約 1 時間待たされ、準備フェーズを最初からやり直すことになりました。（中 3 生）
- 機材トラブルにより、後半組は 5 時間待たされたが、前半組は先に帰っていた。飲食が可能な時間以降、何時間も水分補給がとれなかった。（中 3 生）

【会場Ｄ】

タブレットのボタンを押すべきところ、試験監督が「押さないで」と指示したことにより、帰宅時間が遅れただけでなく、多数の再試験者が発生したとの証言がありました。再試験が 12 月 14 日と、結果を志望校決定の参考にする V もぎ（模試）と同じであることに、「すべてが崩された気持ちです。運営側の手違いで負担をかけないでほしい」と怒りの声が寄せられています。

- 再受験になったと帰宅しました。帰宅時間も、受験できた子よりも更に遅かったです。ただ、待機待機と言われ、自習道具もだせず、そのままボーっと待つだけです。

話を聞くと、ヘッドホンを拭いたりと画面上の説明と同じことをしてから、試験官が「今から練習ですので、ボタンは押さないでください」といわれ、そのまま押さずにヘッドホンをしていても、何も流れず、そのうち、手を挙げる生徒がだんだんと増え、実際それは、本番で本来ならばボタンを押さなければならなかったのです。

再受験は、12月14日と言われましたが、多くの生徒が、合否判定のブイ模擬の日です。受験が近い年内最後の合否判定で、迷ってる志望校を決めようと思っているのに、それを受けられずスピーキングの再受験をしなければならないのです。

予約もしてお金も払っています。すべてが崩された気持ちです。運営側の手違いで時間のない受験生に負担をかけないでほしいです。憤りを感じます。(保護者)

- 説明がわかりづらくほとんどの子が試験を開始できず追試になってしまった。(中3生)

(3) 手順を理解していない運営等により、生徒が困惑し公平・公正さが損なわれる

タブレットの不具合も発生

(1)(2)以外の会場からも「説明動画を見ている時に試験監督が話し始めた」「試験監督が試験の流れを理解していない」「指示がわかりづらい」などの証言が多数ありました。試験監督による運営や指示が適切でなく、生徒が困惑し公平・公正さが損なわれる状況も改善されていません。

タブレットの不具合が発生したという証言も引き続き寄せられ、品質管理が改善されていません。

(説明動画を見ている時に試験監督が話し始める)

- 説明動画を見ているときに試験監督が勝手に話し始めて「こちらは大切なことなのでもう一度言います」と言い出したのでわけも分からず片耳だけ出して話を聞きました。結局動画の説明もテストについての監督からの説明もよく聞き取れなくてテストにおいて不利だと思った。(中3生)
- タブレットから音声で説明を受けている途中で試験監督官が口頭で突然説明を再開していて何も聞こえない。(中3生)
- まだ動画の説明が終わっていないのに次の説明に行ったり、見終わっていない人がいても突き進んで行ってしまうのが困りました。(中3生)

(試験の流れを理解していない)

- 試験の流れが書かれたマニュアルを試験監督が読みながら進めていたのだが、指示を読み飛ばしたり、間違えたりしたため混乱が生じていた。(中3生)
- 指示が曖昧、試験の流れを理解していない。(中3生)
- 補助監督員の方が監督の指示がある前にボタンを押せと言ってきた。(中3生)

(指示がわかりづらい)

- 試験官の指示がわかりづらい場面があった。ずっと隣の先生と話をしていて、こちらへの指示なのか、雑談なのかわからなかった。(中3生)

●声が小さくて聞き取れない。(中3生)

・なんとなくは分かるが声が小さく要領を得なかった。(中3生)

(タブレットの不具合が発生)

●私がタブレットを起動させたら試験監督者用の画面が表示され、試験監督からタブレットを交換された。試験終了後、今度はそのタブレットが不具合を起こし、試験監督補佐が強制シャットダウンを行った。再試験にならなくてよかったと安心しているものの、タブレットの不調が多いと思った。(中3生)

●タブレットの不具合があり、別室に移動になったと聞きました。(保護者)

(4) 試験運営関係者も「運営が不十分でもその原因は主催者側にある」と指摘

ESAT-Jは、1日限りのアルバイトの試験監督(会場責任者、副責任者、本部要員、補助員、会場係員含む)により運営されていますが、人数が大量に必要なため未経験者も多数採用されています。

(1)から(3)のような運営のミスが生じることについて、試験運営関係者から「年に一度の開催なので現場スタッフの練度が高くなく、ヒューマンエラーが発生しやすい」「マニュアルの複雑さに対して、設定されている研修のための契約時間が短すぎる」「運営が不十分でもその原因は主催者側にある」との指摘がありました。

ネットの求人広告によれば、ESAT-Jの研修は自宅での動画視聴で、時給約1300円、3時間となっています。別ルートからの情報によれば、自宅に送付されるマニュアルは180ページにも及び、動画視聴と合わせて3時間でこなせる量ではない、理解度の確認テストは正解も送付されてくるため理解していなくても正答できるとのことです。

今年も試験の遅延や再試験等が数多く発生し、改善できていないことは、1日限りの大量のアルバイトによる試験運営では、試験監督の質の確保に限界があり、公平公正で生徒の人権や安全に配慮した運営は不可能であることを示しています。都教委はそのことを認めるべきです。

●試験監督マニュアルの記述ミスが多い、手順の取り違いなどが本番で発覚し困惑する。主催企業や東京都職員の準備不足(マニュアル推敲不足、会場運営請負企業への連絡不足)が否めない。

年に一度の開催なので現場スタッフの練度が低いのでヒューマンエラーが発生しやすい。複雑なマニュアルに対し契約の研修時間が充分と言えない。手順をもれなく覚えるために繰り返しマニュアルを読みこまなければならないが、安価かつ短時間の契約外で全てのスタッフがそこまで自己研修を積むわけではない。

ブリティッシュカウンシルや東京都の役人が会場に来ているが、具体的かつ的確な指示をその場でするわけではない。会場スタッフの仕切が不十分だとしても、その原因は主催団体側にあると思う。試験監督マニュアルの複雑さに対して、設定されている研修のための契約時間が短すぎる。その時間内でやろうとすれば、読み込みが浅くなるのもやむなしと思う。(試験運営関係者)

●マニュアルで不明瞭な箇所が多いくせして、指示だけはやたらと細かい。(試験運営関係者)

2、セクハラされたという証言も。中学生を守る立場で調査・対応を求める

試験監督の質に関連し、女子生徒にのみ「靴脱いで」「女の子にだけだよ」などと話しかけるセクハラまがいの言動があったとの回答がありました（下記参照）。話しかけられ、断ったが「本当に怖かった」と述べています。

都教委はこの証言について、都議会文教委員会で「インターネット上で行われたことについて、答えられない」と答弁したことは、中学生を守る立場に立っていないと指摘せざるを得ません。責任をもって調査・対応すべきです。不適切な人物が試験監督に採用されている事例は過去にもあり、ネットで1日限りのアルバイトを募集し試験監督にあてるやり方を続ける限り、改善は困難だと言わざるを得ません。

また「体調が悪くなり電話を頼んだが、実際には電話されていなかった」との証言もありました。生徒の安全確保や配慮ができていないことは試験以前の問題で、試験を実施・運営する資格がありません。

- 試験終了後の自習時間に女子生徒のみに話しかけており、「疲れたでしょ」「リラックスできる方法教えてあげようか」「靴脱いで」「足の指動かして」などと話していて、気持ちが悪かったです。他の女子生徒が「皆に伝えないんですか」と質問したところ、「女の子にだけだよ」と答えていました。自分も話しかけられ、大丈夫です、と断ったところ大きなため息をずっとしていました。とても怖かったです。（中3生）
- 体調が悪くなり、電話を頼んだが、実際には電話はされておらず、時間が過ぎていった。（中3生）
- 試験官で「お家の人」とか「保護者の方」と言ってくれる人もいたが、「これをお母さんに見せてね」と言われたことがあった。自分には母親がいないので、もうちょっと気配りしてほしい。（中3生）

3、約半数の生徒が「まわりの生徒の解答する声が聞こえて何を言っているかもわかった」と回答するなど、意図せずカンニングできてしまう状況は改善していない

1つの教室で「まわりの生徒の解答する声が聞こえましたか」との質問に、「声は聞こえ何を言っているかもわかった（部分的にでも）」と回答の回答が51件（44.7%）もありました。意図せずカンニングできてしまう状況は改善されていません。

「自分の声の録音確認の際にまわりの生徒の声が録音されていた」との回答は61件（56%）でした。まわりの生徒の声が録音されているのに「どう結果を判断するかが不明確」との声もありました。

前半組、後半組の情報漏れについては、「前半組の生徒が解答する声が聞こえて何を言っているのかもわかった（部分的にでも）」との回答は5件、「前半組の試験が終了してから後半組の試験が始まるまでに、前半組と後半組の生徒の接触があった」との回答は3件でした。同じ問題のテストを前半組、後半組に分けて行うことは、常に情報漏洩の可能性が付きまとうため、やめるべきです。

- スタートが唐突過ぎてスタートが周りより遅れた。結果周りの声が聞こえてきたあとに解答する形になってしまい、何だか答えづらい環境となってしまった。(中3生)
- 試験開始のボタンを押すのが試験監督の腕を見るというアナログ手法が故に問題の進行状況がバラバラで、数秒後から始めると、回答開始も遅くなり、それまでに周りの人の喋り出しが聞こえ(特に重要な5W1Hが)、不公平だと思った。(中3生)
- 教室によって開始のタイミングがバラバラで、私のクラスで試験が始まった時に、別クラスではもう試験が開始しており、解答の音が聞こえた。簡単に言えば、カンニングが簡単にできてしまっている状態だった。(中3生)
- 解答中に流れるザーという音が中途半端な音量のせいで周りの人の解答が聞こえる、気が散る。(中3生)
- 本人の声に不特定多数の他人の声が入り込んでいるのにどう結果を判断するかが不明確である。(保護者)

4、拘束時間について9割が「長い」と回答。「時間の無駄」「苦痛」「不公平」との声が寄せられる

ESAT-J は同じ問題の試験を前半組、後半組に分けて行うため、カンニング防止のため受験生を拘束しつづけます。過去3回のアンケートでは、テストそのものは15分なのに拘束時間が3時間以上に及ぶ(12:30集合15:40解散)ことに疑問の声が多数寄せられていました。

今回、試験当日の時間設定について設問したところ、「長い」との回答が9割近く(86.9%、106件)に及びました。さらに前半組後半組に分けることが、「テスト前に自習できる後半組の方が有利」と不公平感にもつながっています。

9割が「長い」と回答し、「無駄な時間」「苦痛」と訴えるなど中学生の大きな負担となっていることを直視し、長時間拘束が不適切であることを認めるべきです。

スマホを12:30に提出した後13:00まで何もせずに着席させられることに対しても「時間の無駄」という声が目立ちました。試験が休日に実施され代休もないことについて、「平日に行ってほしい」との回答が65件(53.7%)でした。

- 待たされる時間ばかりで、実際のテストは15~20分。受験生に無駄な時間を過ごさせ、今はインフルエンザが流行しているのに密集させて、二重の意味で不快でした。(保護者)
- ほとんど確認とか自習とかいう意味のわからぬ時間。テストはすぐ終わる。もっとシステムの整備をすべきだと思いますよ。(中3生)
- 後半組の方が試験開始間での勉強時間が長くなり、不公平。(中3生)
- 前半と後半で分けているなら集合時間を同じにする必要はないと思う。(中3生)
- 高校の説明会に午前も午後も行けない。食事が中途半端になる。(中3生)
- 前半と後半を分けず、全員が一度に受験した方がよい。15分のために3時間近く拘束されるのは苦痛です。(中3生)
- 着席してから説明まで30分も待たされたが、自習も禁止で、無駄な時間を過ごした。

- 貴重な勉強時間をこんなことに使いたくない（中３生）
- 15分のためにわざわざ休日に出向く必要があるのか不明。また、都立を受験しない子にとっては参加意義がわからない。（中３生）

**5、過去３回の問題が解決せずに繰り返されるESAT-Jには構造的な欠陥があり、
ESAT-Jの都立高校入試活用は中止しかない**

アンケートにより、試験終了時刻の遅延や再受験者が複数会場で大量に生じる状況が、昨年に続き今年も繰り返され、改善されていないことが明らかになりました。

都教委は「使用機器の品質管理や当日のオペレーションなど、事業者と緊密に連携して検証を行い、不断の改善に努める」と発表し(5月22日)、とりくんでいたはずですが。それでもなお同様のトラブルが発生したことは、ESAT-Jには構造的な欠陥があり改善は不可能だということを示しています。

1日限りの試験監督をネットで大量に募集し自宅での短時間の動画視聴の研修のみで運営をまかせる、教室に30人近い生徒を詰め込み同じ問題で受験させる、機器の必要台数を半分にするために生徒を前半組と後半組に分ける方法は、試験の公平性・公正性を担保できないばかりか、生徒に負担をかけるばかりです。

「改善に努める」と言いながら同じトラブルを繰り返すのは、試験監督や機器にはコストがかかるため、民間事業者（ブリティッシュ・カウンシル）が抜本的な改善策を取ることができないからです。昼食を食べさせず、セクハラといえる事態まで発生していることも含め、まさに構造的欠陥によるものであり、都立高校入試への活用は中止するしかありません。

再試験の日程がVもぎ（模試）と同日されていることも問題です。2度も試験を受けなければならないことに加え、志望校決定の重要な資料となる模試が受けられず受験料も無駄になることに、昨年も今年も怒りの声が上がっています。別の日を設定できないのであれば、これも構造的欠陥です。

都教委は都議会で私たちのアンケートに対し、インターネット上で行われたものと批判しましたが、私たちは当事者の切実な声であると判断しています。証言のあった事柄について自ら調査・公表もせずアンケートをけなすのは、中学生をはじめとする都民に誠実な態度とは言えません。

6年間で210億円という巨額の税金を使いながら、15分のテストに生徒を3時間以上拘束する方法しかとれず、入試に必要なレベルでの公平性・公正性も担保できず、生徒の安全確保もできないのではコストパフォーマンスもタイムパフォーマンスも最悪と言わざるを得ません。

ESAT-Jの入試活用は中止することを、改めて強く求めます。

以 上

(資料)

E S A T－J 実施状況調査2025 質問項目

(1のみ必須)

1、あなたの属性・お立場（どんな方ですか？）

○中学3年生 ○中学3年生の保護者 ○中学3年生の家族（祖父母や兄弟など） ○試験運営関係者（試験監督、電話対応担当者など） ○都内中学校教員 ○都立高校教員 ○都教委職員○塾講師 ○その他（ ）

2、受験した（関係した）試験会場はどこですか（できるだけご回答をお願いします）（記述式）

3、スピーキングテストの状況について教えてください

①試験監督の指示で困ったことはありましたか

○はい ○いいえ

■ はいの方は具体的にお書きください（記述式）

②まわりの生徒の解答する声が聞こえましたか

○声は聞こえて何を言っているかもわかった（部分的にでも） ○声は聞こえたが何を言っているかはわからなかった
○まわりの生徒の声は聞こえなかった

③前半組の生徒が解答する声が聞こえましたか

○声は聞こえて何を言っているかもわかった（部分的にでも） ○声は聞こえたが何を言っているかはわからなかった
○前半組の生徒の声は聞こえなかった ○前半組だった（気が付いたことがあれば3―⑥に）

④ヘッドセット、タブレットなど機器について困ったことはありましたか

○困ったことがあった ○困ったことはなかった

⑤自分の声の録音確認の際に、まわりの生徒の声が録音されていましたか

○録音されていた ○録音されていない

⑥前半組の試験が終了してから後半組の試験が始まるまでに、前半組と後半組の生徒の接触がありましたか

○接触があった ○接触はなかった ○わからない

⑦ ①から⑥の具体的な様子や気づいたこと、変だな、いやだなと思ったことなどをお書きください（記述式）

4、試験の日程についておしえてください

①試験当日の時間設定（集合 12:30、解散 15:40）は適切だと思いますか。

○長い ○適切 ○短い ○その他

■①の理由を具体的にお書きください（記述式）

②試験が休日に行われることについてどう思いますか

○適切 ○平日に行ってほしい ○その他

■②の理由を具体的にお書きください（記述式）

5、試験当日のことで情報提供したいことがあれば、番号を選択の上、具体的にお書きください（複数選択可）

①試験の内容について ②受験会場の様子や会場までの交通について ③試験監督について ④食事場所や健康に関することについて ⑤テスト中の他のトラブルについて

■ 5について具体的にお書きください（記述式）

6、Web 登録（7～9月）について困ったことがありましたか（登録がされていなかった、間違って登録されていた等）

○困ったことがあった ○困ったことはなかった

■ 6について具体的にお書きください（記述式）

7、試験当日以外のことで次の各項目について情報提供したいことがあれば、番号を選択の上、具体的にお書きください（複数選択可）

①事前の学校や東京都教育委員会からの情報提供の時期や内容について ②申し込み方法について③電話窓口の対応について ④その他

■ 7について具体的にお書きください（記述式）

8、その他ご意見などをお書きください（記述式）

9、もしよろしければ連絡先をお願いします（あとから内容の確認のためにご連絡をさせていただくことがあります）（記述式）

以 上